

校友時報

明石だより

明石 No. 1

8/26(木)
新聞部
土橋 健
小杉 航

FAX 0185-54-2230

キョウフレイボール

第37回 全道高等学校軟式野球選手権大会 (兵庫県)

地方予選を勝ち抜いたチーが参加して、第37回全道高等学校軟式野球選手権大会が、兵庫県明石市の県営明石球場で今日から開幕した。

関西地方は、今日も如度あるかと思われ、暑い。それも、本校の前試合(京都平安高校対新井作新学院戦)の中、より更に暑くなり、日射しは文字どおり肌を炙り、汗が流れる。暑さになった。球場の周囲の木の向こうに、まるで、コンパスで描いたかと思われるほど、綺麗に手入れされた、緑のグラウンド。今日、立ち上がり、北月、仲どして試合を観戦しているように見える。

明石(あかし)

「子午線のまち」

明石は日本の「時」を告げる子午線のまち。東経135度の子午線がこの町を貫く。それを示す天文科学館が、球場のすぐうしろにある。明治43年に、大日本中央標準時子午線



通過地標識」という石柱が立っている。日本標準時は、明治21年1月1日午前零時からスタートした。

「万葉のまち」 「源氏のまち」

明石は柿本く麻呂や山部赤人によって万葉集に詠まれ、「源氏物語」の舞台にもなったまち。

天竺の表の長道ゆ 恋ふれば
明石の門より 大和島見ゆ
柿本く麻呂

「海峡のまち」

日本有数の狭くて流れの速い明石海峡。その海峡をへたてて淡路島がある。あと5〜6年で、明石海峡大橋という橋が作られるそうだが、長さは3710m。

「もう一つの甲子園」

を「もう一つの甲子園」と言ったりするが、明石は「甲子園」とは別の大会である。こんなにも暑い暑い日であるにもかかわらず、スタンドにも「さわやか」な雰囲気漂っている。

「入場料、無料」「スロウラン100円」(販売する窓口にいるのは高校生のアルバイト)。応援する人々の数も多いと言えず、スタンドの椅子も沢山空いている。派手な模様のシャツは、スラッシュの旗柄も小さい。偶然かも知れないが、女子のチアリーダーの持つボンボンまで小さくかわいい。

西明石駅から乗ったタクシイの運転手さんが、「今日球場で何かあるんですか」と聞いてきたほど、派手な宣伝はない。しかし、高校生が自分たちの力でやれることを精一杯やっている(外見は派手ではないが、中身は最高に充実した)大会のさわやかさは、かけがえのないものだ。

校友時報

明石だより

8/26

新聞部

No. 2

能高初戦で敗退

選手たちの協力を得て、スコアブックを言葉にしてみました。試合の様子は、思い浮かべてください。

第3試合 能代 VS 四日市

(先攻) (後攻)

1表	1番バッター	鎌田秀一	
		見逃し三振	1アウト
2番	塚本一也		
		内野ゴロ	2アウト
3番	北林良秋		
		センター前ヒット	1塁
4番	島山靖男		
		フライ	3アウト
1裏		オール三振を奪う	3アウト
2表	5番	芳賀俊成	
		キャッチャーフライ	1アウト
	6番	浜野宏文	
		ファールボールで1塁	

2裏	ゴロ	1アウト	
	三振	2アウト	
	三振	3アウト	
3表	8番	長岡 誠	
		ファールボールで 1塁	
	9番	澤田 幸	
		内野フライ	1アウト
	1番	鎌田	
		からぶり三振	2アウト
	2番	塚本	
		サードゴロ	3アウト
3裏	またやオール三振 を奪う	3アウト	

4表	3番	北林	
		三振	1アウト
	4番	島山	
		ヒットで1塁	
	5番	芳賀	
		島山が盗塁成功して2塁	
		3ベースヒットで	1点目
	6番	浜野	
		3振	2アウト
	7番	小笠原	
		レフトヒットで	2点目
	8番	長岡	
		フライ	3アウト
4裏			
		サードゴロ	1アウト
		ファールボールで1塁	
		ヒットエイドラン成功	
		センター前ヒット	1, 2塁

能代	0	0	0	2
四日市	0	0	0	0